

第2回SDGs/ESG金融に関するワークショップ

当行のSDGsの取り組みについて

2021年1月27日



九州フィナンシャルグループ
肥後銀行 経営企画部
サステナビリティ推進室

うるおいある未来のために。
肥後銀行

1.グループのSDGs推進態勢

九州フィナンシャルグループ



Kyushu FG

サステナビリティ
統括室

2018年10月～
専門部署設置



サステナビリティ
推進室



サステナビリティ
推進室



専門組織を設置し、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを強化

地域の持続可能性 = 地域の幸福度向上

誇り (自然・文化・生きがい)

夢・希望

健康・安全安心

経済的な安定

好循環サイクルを実現

共通価値の
創造

地域・お客様・当行の持続可能性向上

肥後銀行グループの持続可能性

SDGsの取り組み

社会貢献活動

中期経営計画「新創業2020」

企業理念

お客様の持続可能性

総合金融機能

産業振興機能

2.具体的な取り組みのご紹介

私たち九州フィナンシャルグループは、国連が定めた持続可能な開発目標であるSDGsの趣旨に賛同し、全役職員が主体的に取り組むことを宣言します。

1. 持続可能な社会づくりへの取り組み

私たちは、環境にやさしい経営の実践を通じ、お客様や地域の皆様お一人おひとりが、将来にわたって幸せや満足を実感できる社会づくりに取り組みます

2. 地域経済発展への取り組み

私たちは、地域総合金融グループの力を最大限に発揮し、お客様・地域の課題解決を支援することで、持続的な地域経済の発展に貢献します

3. 普及・拡大への取り組み

私たちは、お客様や地域の皆様との対話を深め、地域全体が持続可能な社会となるように活動の輪を広げます



Environment

環境・生物多様性の保全

地方創生・創造的復興の実現

お客様・地域の課題解決支援

Social

ESGの視点

企業理念

総合金融・産業振興
機能の発揮

社会貢献活動
環境保全活動



課題解決支援を
実践する人材育成

多面的
生産性向上

ダイバーシティ
働き方改革



教育・学習する
組織風土



Governance

経営品質

目指す姿

地域の
持続可能性

誇り

夢・希望

健康・安全安心

経済的な安定

好循環サイクルを実現
(共通価値の創造)

当行の
持続可能性



お客様の
持続可能性

高い倫理観をもって、真摯に持続可能な環境・社会づくりに取り組みます

重要課題	取り組み例	対応する主なSDGs
<p>環境にやさしい地域づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地下水保全活動としての3本柱 【森林】 水源涵養林の育成 「阿蘇大観の森」植樹 【水田】 水源涵養機能の活用「阿蘇水掛けの棚田」での稲作 【草原】 水源涵養機能の保全「阿蘇の草原」維持活動 ・災害等に強い街づくりの推進 ・ESG関連の投融资推進 ・紙資源の削減等CO2削減の取り組み 	
<p>全ての人を支える地域の基盤づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域産業振興・復興支援の取り組み強化 ・地域間格差のない金融サービスの提供 ・FinTech、IT、キャッシュレス時代における公平な金融サービスの提供 ・事業承継支援等を通じた地域活性化支援の実施 	
<p>全ての人活躍する職場・地域づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・多様なニーズに応じた金融商品・サービスの提供 ・健康経営の実践及びお客様・地域の健康増進支援 ・女性活躍推進の取り組み強化 ・多様な働き方を推進する制度の充実 	
<p>持続可能な環境・社会に貢献する人づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・お客様・地域の課題を解決する人材の育成 ・映像を活用した情報伝達と教育 ・金融リテラシー向上に向けた金融教育活動 	

健康経営優良法人認定

健康経営の取り組み



2019年1月「健康経営宣言」を発表。
健康に対する具体的な取り組みを通じて、組織の活性化や生産性の向上につなげ、企業価値の向上を目指す

- ・メンタルヘルスセミナーの定期的な開催
- ・ストレスチェック結果に基づく職場改善活動の実施
- ・禁煙促進（禁煙外来サポートの充実、禁煙デーの設定）等



健康経営優良法人

Health and productivity

ホワイト500

2019年2月より認定

プラチナくるみん認定

ワークライフバランスの実現



全従業員が「働きやすさ」と「働きがい」を感じながら、能力を発揮し活躍できる多様性のある組織づくりに努め、新たな価値創造による、企業の成長を目指す

- ・男性の育児休業取得率は100%を達成
- ・2018年度所定外労働時間は2016年度比▲28%



2019年9月認定

1. 私たち九州フィナンシャルグループは、持続可能な社会づくりに向け、お客様や地域の環境・社会問題解決につながる自律的で責任ある投融資を推進します。
2. 投融資を行うにあたり、財務情報はもとより環境・社会に与える影響等の観点も重視し、適切な判断を行います。

以下に例示するような事業に対して、積極的に支援を行います。

- ① 脱炭素社会実現に向けた二酸化炭素排出削減など気候変動の抑制に資する事業
- ② 水資源や森林資源、絶滅危惧種の保護など生物多様性保全に資する事業
- ③ 農林水産業、観光業など地域の基幹産業の振興に資する事業
- ④ 世界遺産および有形・無形文化財等の文化財保全に資する事業
- ⑤ 防災・減災に資する事業
- ⑥ その他、持続可能な社会づくりに資する事業

なお、以下のような先には投融資を行いません。

- ① 人身売買など人権侵害や強制労働への関与先
- ② クラスタ弾など非人道的な兵器の開発・製造の関与先や、規制・制裁対象先



肥後銀行 ESG投融資目標の設定について

肥後銀行は、九州フィナンシャルグループ「投融資に関する指針」を踏まえ、ESG投融資目標を設定しています。

2020年度 ESG投融資目標額 6,000億円

※ESG投融資

財務情報だけでなく、環境（Environment）・社会（Social）・企業統治（Governance）に配慮した事業活動等非財務情報も考慮して行う投融資。

環境省「第1回ESGファイナンス・アワード・ジャパン（融資部門）」で銀賞を受賞（2020.2.26）

目標設定・公表や地域の基幹産業向け融資を積極的に実施するなど、包括的なESG金融への取組みが評価されました。



項目	省エネルギー設備投資に係る利子補給事業	地域 E S G 融資促進利子補給事業
所管省庁	経済産業省	環境省
利子補給総額①	15億円	0.6億円
利子補給額②	1%上限	1%上限
融資総額	1,500億円	60億円
融資額上限	1事業あたり融資金額100億円	1行あたり融資金額20億円
利子補給期間	最長10年	最長3年
要件	省エネ設備新設・増設	E S G 融資額の設定・公表（融資金融機関）
	エネルギー消費原単価が1%以上改善する事業	地球温暖化対策の設備投資
	クラウドサービスやEMS（エネルギーマネジメントシステム）による省エネ取組に関する事業	CO2削減に係る計画策定、および排出量算定

企業の環境・社会に配慮した事業活動について積極的に支援

森林

水田

草原

3本柱

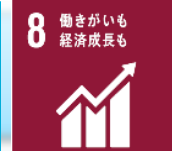
2006年～

水源涵養林の育成の「阿蘇大観の森」での植樹

2011年～

耕作放棄地を利用した「阿蘇水掛けの棚田」での稲作

野焼きボランティアなどの「阿蘇の草原」維持活動



《植樹》



《耕作放棄地》



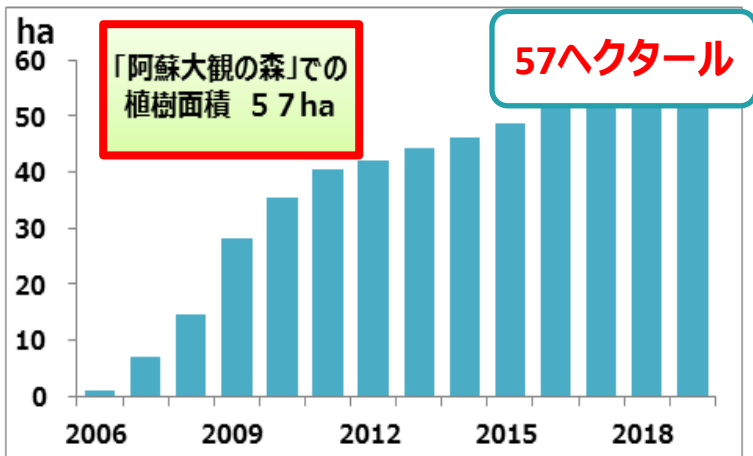
《棚田再生後》



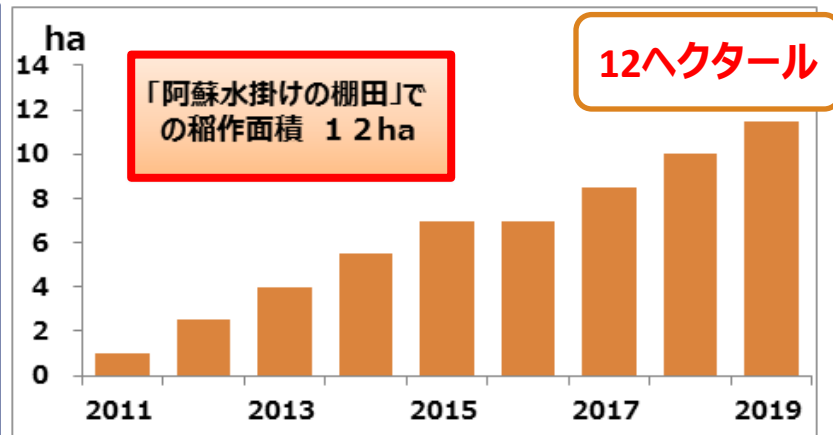
《田植え》



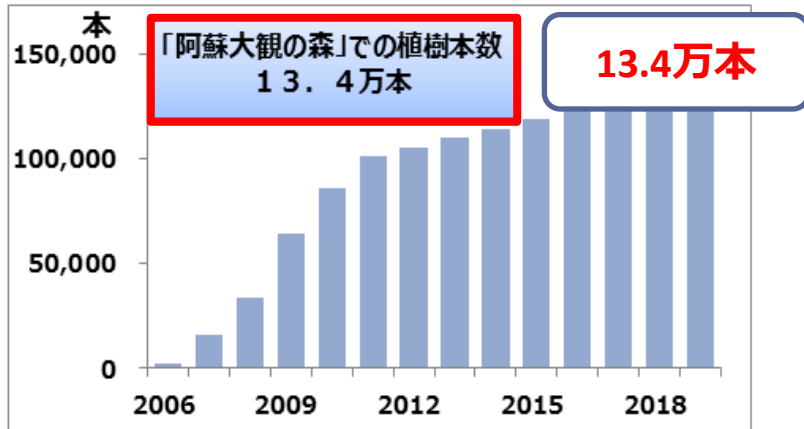
植樹面積



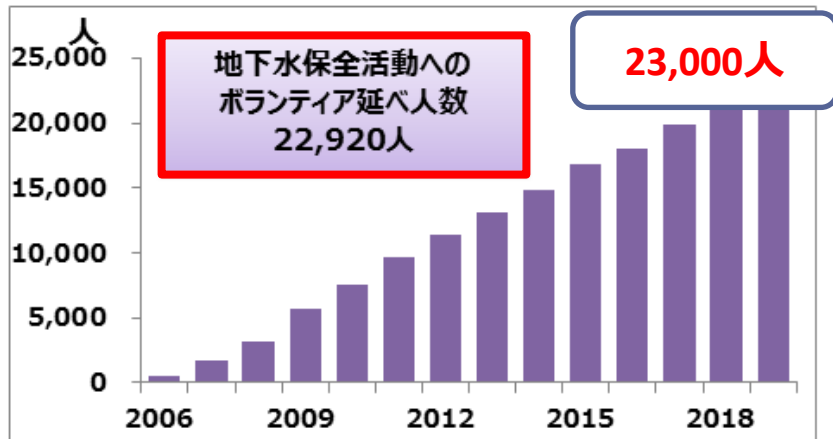
田植え面積



植樹本数



ボランティア人数





- インテリアデザインは、当行が管理する県産材「阿蘇大観（たいかん）の森」の間伐材をふんだんに使用
- より近くに森を感じられることで得られる万物の成長や息衝きが、肥後銀行を訪れる人にとっての**未来への安心感とつながり、共存共栄していくことを強く印象付けるデザイン**としています

店舗設計

LED照明、太陽光発電、体の不自由な方にもご利用いただけるトイレの設置等

LED照明



12.2

太陽光発電

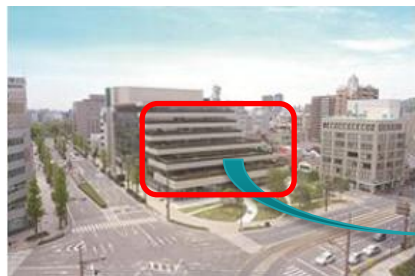


7.2

本店ビル

使用する水の約6割を雨水で賄う設備、大気汚染の浄化を目的にした植栽

本店ビル



大気汚染浄化のため植栽
(オオイタビ・ノックス)



12.8



13.1

16



移動店舗車（ハモニカー） （2台）



11.1



阿蘇グリーン定期預金 （6年間継続）



13.1



防災井戸 （10か所）



6.4



学び舎応援私募債 （2016年～）



4.7

サステナビリティ経営の実践

社会の発展に資する共通価値の創造自体を戦略に組み込み、事業活動を展開

中・南九州の地域循環共生圏に関する連携協定（2020.1.18）



17.17

熊本市、小国町とのSDGs推進に関する連携協定



4.7



13.3



15.1.2

九州フィナンシャルグループ

肥後銀行

大分銀行

環境省

九州地方環境事務所

SDGs普及・啓発

ESG融資等

事業者

鹿児島銀行

宮崎銀行

九州フィナンシャルグループ



小国町との連携協定式の様子
(2020.5.21)



熊本市との連携協定式の様子
(2020.1.27)

連携分野

- 国立公園等の地域資源の持続的な活用を通じた地域活性化に関する事項
- SDGs普及・啓発に関する事項
- ESG融資等の推進に関する事項

連携分野

- SDGsの普及・啓発
- 企業等のSDGsの取り組み支援
- 循環型社会の構築 等

サステナビリティ推進を通じ、品質重視の経営を地域・お客様へと拡大

TCFD提言への賛同（2019年6月）



2019年度

TCFD提言の賛同

TCFDコンソーシアム
入会

2020年度

- 【実施事項】
 - ・統合報告書での開示
 - ・温室効果ガス算定の高度化（スコープ1・2）
 - ・シナリオ分析
- 環境省の支援事業にてシナリオ分析を実施中

TCFD 提言への賛同と対応

当社グループは2019年6月にTCFD[®]提言への賛同を表明し、気候変動に関する情報開示と取り組みを進めております。

※TCFD=Task Force on Climate-related Financial Disclosures気候変動に関する企業情報開示の推進を目的に、2015年12月に金融安定理事会（Financial Stability Board）の提言のもと設立された民間主導のタスクフォース。



ガバナンス

当社グループは、気候変動に係る対応方針や重要事項をグループ経営執行会議にて審議するとともに、必要に応じて取締役会に報告し、取締役会の監督が適切に図られる体制を整備しております。

【気候変動に係る審議・報告事項】

投融資に関する指針の策定、グリーン購入に関する指針の策定、サステナビリティ宣言の策定、サステナビリティ全体構想の策定

戦略

当社グループは気候変動を含む環境への取り組みを重要課題と認識し、当社グループの「サステナビリティ宣言」に基づき、「環境にやさしい経営の実践」をグループ一体で取り組んでおります。また子銀行である肥後銀行と鹿児島銀行はそれぞれで環境方針を策定する等、グループ一体で環境課題に取り組んでおります。

- ・優先的に取り組む環境課題の特定（サステナビリティ全体構想の重要課題特定）
- ・脱炭素社会実現に向けた二酸化炭素排出削減等気候変動の抑制に資する事業の支援（投融資に関する指針）

今後、気候変動のリスクと機会を対象とするシナリオ分析の実施について検討してまいります。

リスク管理

当社グループは、気候変動に起因する物理的リスクや移行リスクが、当社グループの事業運営、戦略、財務計画に影響を与えることを認識しております。

- ・融資案件がESGに資するものか、あるいは反するものか、第一線の営業店及び融資審査を行う融資関連部がチェックを行い、ESG要素を加味した融資判断を行っております。
- ・グリーン購入に関する指針」を策定し、グループ一体で環境に配慮した購買活動を推進しております。今後、総合リスク管理の枠組みの中で対応する体制の構築に努めてまいります。

指標と目標

・温室効果ガス排出量推移

計測項目	2017年度			2018年度			2019年度		
	Scope1	直接排出量		Scope1	直接排出量		Scope1	直接排出量	
CO ₂ 排出量 (単位:tCO ₂ e)	12,581	12,581		11,391	11,391		10,927	10,927	
合計	13,830	13,830		12,634	12,634		12,122	12,122	

・SBT（科学的根拠に基づく排出目標）の設定に向け、検討を進めていきます。

PRB署名（2020年9月）

※PRB：責任銀行原則



2020年9月

グループのサステナビリティ推進に向け、SDGs・パリ協定に整合するPRBの署名

【ポジティブインパクト】

- ・サステナビリティ・リンクローン等商品開発
- ・ESG投融資の精緻化

【ネガティブインパクト】

- ・サプライチェーンでの温室効果ガス算定（間接排出量算定、スコープ3）

グループで
取り組み推進

3. 今後の取り組み

(熊本地震後) 企業アンケート結果から得られた仮説

マーケティング	明	暗
1. 市場	△	△
2. 商品	△	△
3. チャンネル等	△	△

イノベーション	明	暗
1. ICT活用	△	△
2. 生産技術	△	△
3. チャンネル	△	△
4. 異業種連携	△	△

地域社会の持続可能性	明	暗
1. 働き方改革	○	×
2. 社会との一体感	○	×
3. 環境への配慮	○	×

アンケートの対象と評価基準

対象：従業員4人以上の事業所 回答社数：1702社

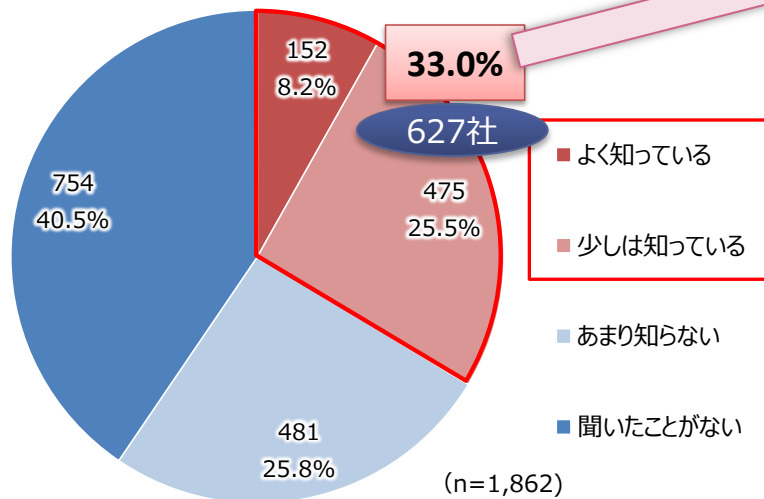
「売上回復」 = 地震前の売上の75%以上→「明」
「売上未回復」 = 地震前の売上の75%未満→「暗」

熊本地震後の売上の回復には、通常、マーケティングやイノベーションへの取り組みが影響すると考えられがち。

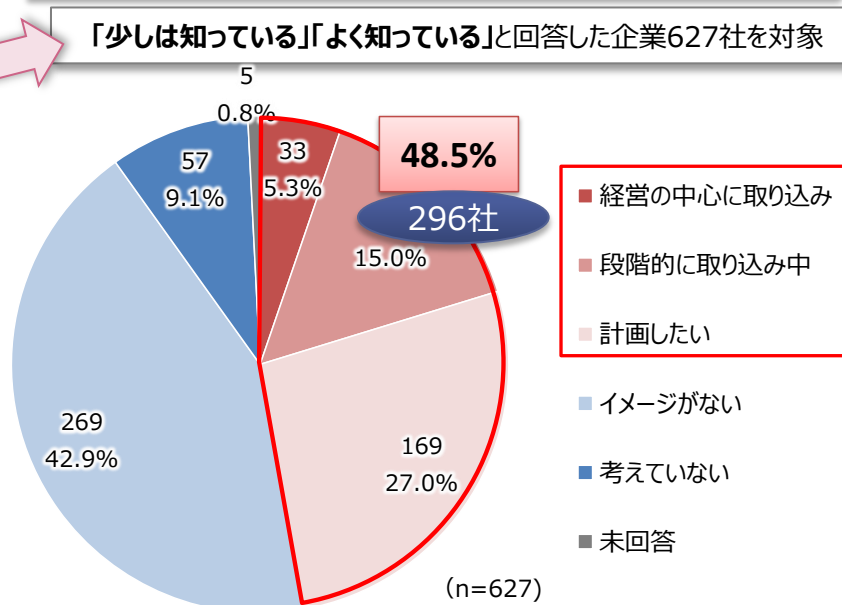
しかし、今回の調査では、それに加え、「働き手」「環境」「社会」などへの配慮が、決め手となっていた。

環境、社会、経済など地域の持続可能性に対する取り組みを行っている企業が業績回復している

県内企業のSDGs認知度



経営へのSDGs取り込み



（地方経済総合研究所レポートより引用）

**SDGsを理解している県内企業は33%
（627社）**

**SDGsを理解している企業627社のうち、
経営への取り込みを実施・計画したい
企業は約半数（296社）。**

今後
SDGsに取り組み、企業の増加が見込まれる
認知度向上とともに

(ご参考) 地方創生に向けたSDGs金融推進について

<地方創生SDGs金融フレームワーク>

(内閣府資料)



フェーズ1
地域事業者のSDGs達成に向けた取り組みの見える化

- ・事業者の「登録/認定制度」構築

フェーズ2
SDGsを通じた地域金融機関と地域事業者との連携促進

- ・金融機関による与信先企業へのモニタリング、フォローアップ
- ・金融機関のコンサルティング力強化

フェーズ3
SDGsを通じた地域金融機関等と大手銀行等との連携促進

- ・地域金融機関の表彰制度創設
- ・大手銀行等と地域金融機関の協業・協調

SDGsという共通言語を介して、多様なステークホルダーが連携し、地域課題解決



17.17



4.7



13.3



15.1.2

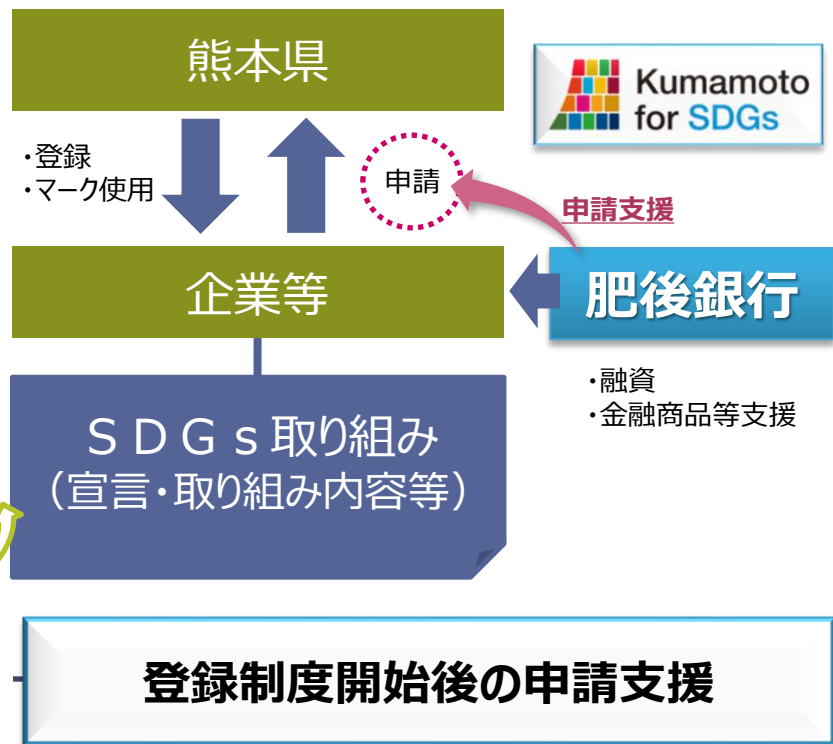
熊本市とのSDGs推進に関する連携協定（2020.1.27）



連携分野

- SDGsの普及・啓発
- **企業等のSDGsの取り組み支援**
- 循環型社会の構築
- 教育・人材育成
- その他持続可能な地域社会の発展

[登録制度の流れ]



企業のSDGsの取り組みを支援



九州フィナンシャルグループ



うるおいある未来のために。

肥後銀行

お客様のSDGsのお取り組みをご支援致します。

肥後銀行では事業者向けのSDGsコンサルティング業務を行っております。

当行では、2020年4月より法人のお客様向けにSDGsコンサルティング業務を開始しました。ご支援しているお客様のニーズに合わせて、社員を複数名集めたグループワーク形式で議論を行ったり、経営者様と1対1で検討したりと方法は様々です。

SDGsに関心がある、具体的に何から取り組みればよいかわからないとお感じの際は、ぜひ一度ご相談ください。

〈主なコンサルティング内容〉

お客様の事業とSDGsの紐づけ

新たなお取り組みのご提案

重要課題の特定、KPIの設定

SDGs宣言、HP作成ご支援

実際にご支援しているお客様の声

熊本トヨタ自動車株式会社

(熊本市、自動車販売店)



本業を通じSDGsに貢献していることに改めて気づきました。災害ボランティアへの自発的な参加等、社員にも変化がみられるようになりました。

株式会社みらいコンシェルジュ

(熊本市、不動産仲介業)



SDGsは、現状を確認し、未来を拓くための道しるべです。企業として取り組まないことが最大のリスクだと考えています。

株式会社 Lib Work

(山鹿市、住宅メーカー)



SDGsなくして当社の成長はないと思っています。コンサルティングを通じて社員の理解を深め、実働に繋げていきたいです。非常にわくわくしています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

肥後銀行 LINE 公式アカウント 友達募集中!!



お気軽にお取引の営業店もしくは下記の問い合わせ先にご相談ください。

肥後銀行法人営業部 TEL.096-326-8602

以上

- 本紙記載の情報の開示については、内容の第三者への開示は禁止されています。
- 本紙記載の情報の著作権は原則として弊行に帰属します。いかなる目的であれ本紙の一部または全部について無断で、いかなる方法においても複写、複製、引用、転載、翻訳、貸与等を行うことを禁止します。
- 本紙記載の情報は、弊行が信頼できると考える各方面から取得しておりますが、その内容の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。弊行は当該情報に起因して発生した損害については、その内容如何に関わらず一切の責任を負いません。